

第8回 那須町議会報告会（意見交換会）の開催結果について

～ 議会報告会に参加をいただきありがとうございました ～

那須町議会では、町民の皆様の多様な意見を把握し町政に反映するとともに、町政全般にわたって議員及び町民の皆様が自由に情報及び意見交換を行うため、毎年、那須町議会基本条例第5条の規定に基づき議会報告会（意見交換会）を開催しています。

議会は、条例の制定・改廃、予算・決算に対する議決権の行使をはじめ、行政に対する監視や政策提言などを行っている機関です。また、町民の代表として、民意を広く行政に反映させる役割も担っており、町行政と町民をつなぐパイプ役でもあります。

町議会といたしましては、皆様の負託に応えるべく、今回お聞かせいただきましたご意見をもとに、町政に反映するよう活動をしていくとともに、今後の町議会活動において多面的に活用させていただきます。

開催日 〔開催場所〕	参加 人数	備考
1 1月18日(木) 〔那須町役場正庁〕	13名	・ 那須町女性団体連絡協議会 （さわやかネットワーク那須）
11月20日(土) 〔伊王野基幹集落センター〕	8名	・ 各地域の皆様 ・ 那須町商工会青年部
11月20日(土) 〔ゆめプラザ・那須〕	5名	
11月22日(月) 〔高原公民館〕	18名	

令和4年2月1日

那須町議会

意見	区分
地球温暖化対策の推進	
SDGzの観点からも太陽光発電を町でも奨励して欲しい。	②
生活環境対策の推進	
生活・・・〇45リットル以上のゴミ袋が欲しい	④
若者から高齢者までの定住化の促進	
定住促進住宅を湯本地区、高久地区等にも建ててほしい	①
人口減少または流出対策 ・住居の整備 本町における観光産業従事者は若者も含め多くが他市町に住居を有しており、本町での住居需要が少なからず存在すると推測される。広谷地地区あるいは湯本地区など働く方々に利便性の高い地区に住居整備をすることで、移住を促進するとともに人口減少に歯止めをかけることが出来るのではないか。	②
人口減少・・・〇人口減少に対しての町の取り組み	④
農家の70代80代が頑張っているが次の世代がない	①
良好な生活空間の形成(生活基盤施設の整備)	
看板の撤去について 景観条例で看板の規制を掛けているが閉店している看板が撤去されないでいる	④
看板の撤去について 閉店後の看板撤去を景観条例の中に入れて規制すべきである	④
安全な水の安定供給	
冬になると井戸水が枯れるので水道が欲しい	①
水道がない地区へは企業誘致できない	①
子ども・子育て支援環境の充実	
保育園の無料化など	①
子育てではお金がかかる	①
子育てしたいと思える魅力あるまちづくりをすれば若者が移住するのでは	①
地域福祉の充実	
ボランティア(傾聴・本の朗読等)をしたいが、どうしたらよいか。町社協まで往復は無料。	④
川崎市は高齢者支援が手厚い。介護保険も利用しやすい。那須町は相談もしづらい。ヘルパーの数も足りていないのでは。	①
高齢者の自立支援の推進	
敬老祝い金制度が町長によって変わる。高齢者の祝い金は復活してほしい。今回の品物は不評だ。	①
独居老人の対策が必要。	①
高齢者を守るのではなく、自立を促すことを応援する方が実情に合っているのではないか。	①
高齢者福祉 近年高齢者の徘徊、行方不明の事例が増えている。つい最近も高久地区で高齢者が行方不明になり、捜索もむなしく遺体となって発見された。本町のおかえりサポート事業にも一定の効果は期待できるが、より早期にかつ確実に行方不明者を探し出すために、行方不明者になる恐れがある人にGPS探知できる装着品、例えばブレスレットなどを支給するあるいは購入の補助をする制度が必要ではないか。	②
敬老祝い金の現行制度は良い。有効な公金活用をすべき。	④
町の収支バランスによる下支えで、高齢者・障害者福祉サービスを行なうべき。	④
健康づくりの推進	
医療関係の問題。眼科治療は近隣の市などに行かなければならないので不便である。眼科も混んでいて長時間かかる。	③
高原地区に病院を設置してほしい。	④
国内外からの誘客促進	

意見	区分
観光・・・○廃虚家屋の問題	④
那須町には知られていないが良いところが沢山あるのでPRし多くの観光客に来てほしい	①
観光に来て渋滞があるとまた来たいとは思わない	①
宿泊客を増やすためには夜市等、夜の魅力が必要	①
温泉地のイメージアップが必要	①
那須は国立公園内にあり規制が厳しい	①
町は 友愛の森ばかり力を入れている。東部地区にも、特に芦野地区にも力を注いで欲しい。	②
那須街道の渋滞について、以前から迂回路の話が出ていたが一向に進んでいない。	③
駐車場の問題も未解決であり早急に対応していただきたい。	③
知り合いの方からは、那須に行きたいが渋滞があるので気軽にはいけないとの話もある。	③
友愛の森直売所の問題あり。経営の一本化で野菜などが品切れにならないようにしてもらいたい。	③
直売所に出ている品物が同じようなものが多い。農家同士が計画を立てて多くの品種を出してほしい。	③
他の道の駅では、農家同士が話し合い計画を立て種類も多く品物もなくなるないように経営している。	③
参加者から魅力ある温泉街にしてもらいたいとの要望が多かった。	③
キューピー号の復活は、観光地として必要と思う。	③
友愛の森の駐車場整備の進行状況が気になる。終わったら通路に関係なく解放しては。	③
観光・・・○那須ファミリースキー場を民間へ委託	④
観光・・・○観光地域にホテル関係者の従業員向けの住居の建設	④
観光・・・○道の駅友愛の森の駐車場はいつ頃から使用できるのか	④
観光・・・○温泉街の活性化、鹿の湯通りの道路の拡幅、駐車場の問題	④
観光・・・ ○温泉街の活性化、鹿の湯通りの道路の拡幅、駐車場の問題	④
安心な社会・・・○アフターコロナを見据えた観光を含めた施策	④
インフラ・・・○街灯の整備(本町通り)	④
湯本駐車場整備は反対。駐車場整備の前に、地元の同意の下、地籍調査を実施して、“せきさい”図面を作成すべき。	④
那須温泉方面にも歴史探訪館的なものがあるほしい。	③
入湯税の不公平を解消できないか。現在、宿泊したお客様からは150円で日帰りは50円が入湯税とされている。入湯料に対して%で決めてもらいたい。	③
入湯税：金額の一律固定は不公平で、納税意欲が湧かない。売り値×%により不公平税制を是正すべき。	④
公共交通の整備	
買い物に白河方面に行く方が便利だが、デマンド交通やタクシー券が利用できない	①
デマンドの停留所まで歩くのが大変	①
デマンドは自宅まで来てほしい	①
停留所ではなくても手を挙げれば乗車できるバスがあれば	①
福祉タクシーは同じ敷地内に住んでいると、利用できない。とても不便だし合理的ではない。	①
町民バスとJR線との時間の調整があれば利用客が増えるのではないか。	③
町民バスの料金で、高校生に優遇制度があった方がよい。	③
町民バス、2路線の乗り継ぎが上手くない。時刻表の工夫が必要ではないか。	③
町民バスはいこいの家についても、滞在時間よりも乗車時間が長い。	③
二次交通について 利便性の向上をもっと図るべきである	④
二次交通について 観光事業者の連携を図り有償バスの運行をすべきである	④
二次交通について 民間バス社との連携を図り町の交通網を充実するべきである	④
人口減少・・・○免許返納後の高齢者の移手段	④

意見	区分
その他・・・○町内全域の二次交通網の充実	④
二次交通について 白タクの運行を国の特区を活用して不便な場所を運行すべきである	④
(ハイランドパーク周辺の)雪道での自家用車による運転が難しい。生活の足としての公共交通を整備してほしい。	④
横浜市のような、ボランティア(ガソリン代実費を利用者が負担程度の)によるデマンドタクシーが必要ではないか。	④
③福祉タクシー 同一敷地内居住の利用制限を見直すべき。	①
道路整備の推進	
インフラ・・・○道路の整備	④
道路を拡幅してほしい:りんどう湖ファミリー牧場前(ワイナリーそば)	④
那須街道沿いの電柱を地中化して、歩道等を確保してほしい。	④
生活道路(バケイションランド入口付近)を整備してほしい。	④
那須街道の事故頻発区域(ファミリーマート、サファリーパークに向かうT字路)に信号機を設置してほしい。	④
道路を拡幅してほしい:那須街道から高原保育園に入る区域	④
農業の活性化	
畑や田は個人所有の土地ではあるが町の財産でもあると思う	①
休耕地は町主導で活用してほしい	①
ビニールハウスへの助成があればよい	①
米は低収益であるため休耕地が増えるのでは	①
町の特産となるような農産物が必要	①
農業も就労時間や休日等、会社勤めと同じような労働条件であれば就農者も増えるのでは	①
イノシシによる農作物への被害が多い	①
休耕地を活用して「そば」の栽培をしては	①
農業を法人化すれば就職口ができ移住者が増えるのでは	①
無農薬や、有機栽培に力を入れて行ってはどうか。道の駅に出しても買う方は多いのではないかと思う。	③
企業誘致の推進	
人口減少または流出対策・働く場所の確保 産業団地の形成など長期的視野にたった計画が必要であるとともに、観光や林業など本町の強みと言える分野、本町の特徴ある分野に的を絞った企業誘致を行うべきではないか。	②
防災対策の推進	
災害時の高齢者の非難について 災害時の避難時にどうしていいのかわからない	④
災害時の高齢者の非難について 避難マニュアル、マップなど情報が伝わってこない	④
災害時の高齢者の非難について 防災組織の形成を急ぐべきである	④
婦人防災クラブの役割を知っているか。活動を支える住民の力が崩壊している。婦人防災クラブの役割を周知してほしい。	①
高久6班で自主防災組織を立ち上げた。地域の婦人防災クラブの意見を自主防災組織を立ち上げる際には参考にしてほしい。	①
①防災組織について 高久6班で自主防災組織を立ち上げるときに全世帯にアンケートを行って家族状況を調べた。そういったことが必要ではないか。	①
防災ラジオの陳情を提出したが、不採択の結果のみの回答であった。理由を聞かせてもらいたい。4日に会議があるので、それまでに回答が欲しい。子局の増設お願いします。代表者に回答します。	②
災害の時、避難を呼びかけるが、避難所が整備されていない。調査をしてすぐ整備して欲しい。	②
安心な社会・・・○火山噴火の対応BCPプラン	④

意見	区分
安全・安心なまちづくり 避難所については、一時避難所、指定避難所、指定緊急避難所などがあるが、町民がそれらを理解し、いざと言うときに誤ることなく避難所を確認できる状態にはない。お年寄りも含め、避難所がどこになるのか的確に判断できる情報発信が求められる。また、感染症対策や耐震性など避難所の安全確保のための調査と、情報の提供が必要である。	②
防犯対策の推進	
街灯がすくない。特に通学路には早急に対応してもらいたい。	③
那須の人づくりの推進	
結婚していない人が多い。間を取り持つことを積極的に行ってもらいたい。	①
子供の多様な学びの在り方 農家民泊を体験した学生は、農作業などを通じ多くを学び劇的な変化をとげている。本町における子供たちにもこのよう機会を作ることが、豊かな経験となり成長の糧になるのでは。	②
農家民泊(グリーンツーリズム)をやっているが子供たちは大きく変容して帰って行く。那須町の子供たちにも農家民泊を体験させてはどうか？	②
男女共同参画の推進	
那須町は男社会で変わらない。女性議員も一人しかいない。	①
男女にかかわらず、男女共生ができることが理想だ。	①
女性も外に出て意見が言えるようになりたいが、現実には難しい。	①
女性も視野を広げて、参画できるようにする必要がある。	①
女性が経済的に自立できるようにする必要がある。	①
最初は家庭内での男女共生を進め、穏やかに改革できるとよい。	①
男女関係なく平等でありたい。女性が強くなりすぎてもだめだ。	①
男女共同参画に対する議会の取り組みがない。	①
男女共同参画という言葉自体よく理解できない。	①
女性ができる仕事にも限界がある。	①
女性は結婚したら仕事の継続が難しい。	①
女性の生理痛への配慮が少ない。	①
女性は給与も低い。	①
男女共同参画推進条例は、大きな力となるが、それに伴った町の施策が必要だ。	①
さわやかネットワークは、参加団体が減ってきており、新入もない。	①
役職も平等に与えられていない。町が率先すべきであるが、実態は課長が一人もいない。	①
学校教育環境の充実	
各学校のトイレへ生理用品を置いてほしい	①
スクールバスばかり利用するのではなく健康のためにも徒歩通学も重要	①
学習塾に経済的理由でいけない子供がいるが教育は平等をお願いしたい	①
給食の無料化による質の低下や食の安全が心配	①
食育にもなると思うので給食の地産地消を推進してほしい	①
クラスの1人～2人不登校がいるのが当たり前になっている。もっと増えてくると思うが、対策は。	①
不登校は時代と共に変わっているので理解促進が必要。菅間記念病院にはそういったことに理解がある小児科の医師がいる。	①
外国だとホームスクールが充実している。同じような事が出来ないか。	①
②不登校、子育て 多様化している子供たちに、周りが合わせられる状況を作ってあげるべき。	①
中学生の避難所体験を実施している。段ボール、仕切り等あるもおのだけでやっている。避難訓練をしておくも勉強になる。	①
子どもの体力低下が心配	①
地域文化活動の活性化	
芦野の歴史探訪館は利用者増に向け、声野温泉などに施設のチラシ広告が必要ではないか。	③
歴史ある解土芸能をもっとアピールした方がよい。	③

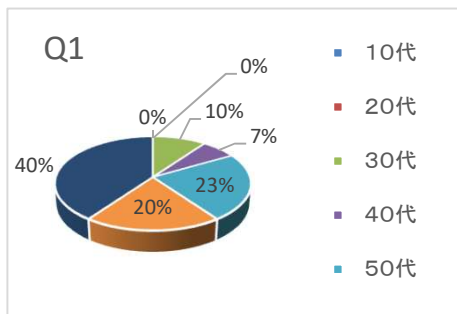
意見	区分
地域づくり活動の推進 子供が学校に行っている世帯は地域とのつながりがあるが、卒業してしまうと希薄になってしまう。	①
行政サービスの向上 ④その他 いい制度があっても町民に伝わっていない。HPをもっと見やすくしてもらいたい。	①
適切な行財政運営 入湯税について 宿泊料金の金額に合わせた入湯税の徴収をすべきではないか 入湯税について 目的税であるので観光に特化した入湯税の使い方をすべきである	④ ④
町有財産の適正管理 那須小学校の利用計画は観光地として目玉として、雪まつりやスケート場などに。 また、教室は全体貸付だけではなく、1教室ずつでも利用者を募ってはどうか。 町有財産・・・○旧那須小学校跡地の利活用 町有財産・・・○伐期を迎えた町有林の伐採	③ ③ ④ ④
議会運営・議会改革について 議員の顔が見えない。もっと地域に出て意見を吸い上げてもらいたい。 議員報酬を引き上げ、生活を保障をして、那須町のために本気で働いてもらいたい。 議会報告会を町民にさらに周知をして、参加人数を増やして欲しい。 議員間討議等、議会改革としての本質的な取り組みが必要。「馴れ合い議会」を打破すべき。	① ② ② ④
その他 温泉の権利権の問題。事業を継続する時に次の経営者にそのまま引き継げるようになっていない。 温泉権の紛争について 温泉供給会社と民宿組合の問題は湯本地区、町にとって問題であり行政が何らかの指導をしてほしい	③ ④

第8回 議会報告会(意見交換会) 参加者アンケート結果

開催日	会場	参加者	回答者	回収率
11月18日	役場正庁	13	11	84.62%
11月20日	伊王野基幹集落センター	8	4	50.00%
11月21日	ゆめプラザ那須	5	5	100.00%
11月22日	高原公民館	18	10	55.56%
	合計	44	30	68.18%

Q1 あなたの年代について

ア 10代	0	0%
イ 20代	0	0%
ウ 30代	3	10%
エ 40代	2	7%
オ 50代	7	23%
カ 60代	6	20%
キ 70代以上	12	40%

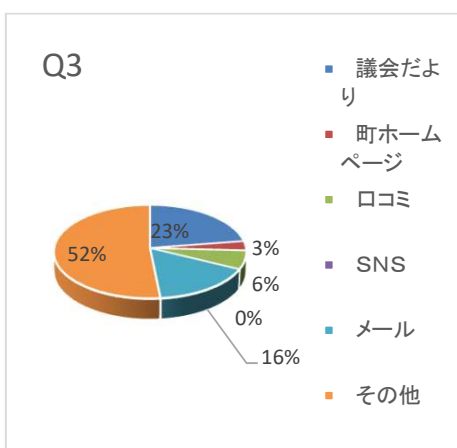


Q2 あなたの性別について

ア 男性	16	53%
イ 女性	14	47%

Q3 議会報告会の開催を何で知りましたか。

ア 議会だより	7	23%
イ 町ホームページ	1	3%
ウ ロコミ	2	6%
エ SNS	0	0%
オ メール	5	16%
カ その他 ※新聞、団体等の案内	16	52%



Q4-①議会だよりを読んだことがありますか。

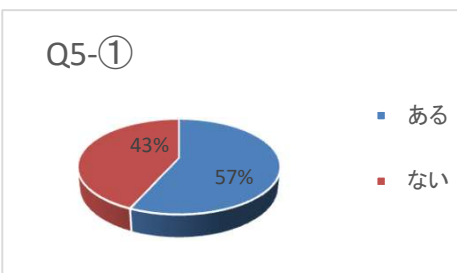
ア 毎回読んでいる	16	53%
イ 時々読んでいる	10	33%
ウ 読んだことがない	4	13%

Q4-②議会だよりについてのご意見をお聞かせください。

※別紙

Q5-①町議会を傍聴したことがありますか。

ア ある	17	57%
イ ない	13	43%



Q5-②議会傍聴についてのご意見をお聞かせください。

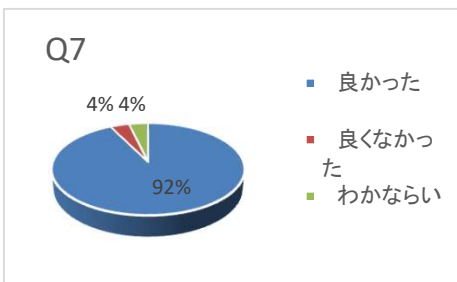
※別紙

Q6 議会報告会に参加したことがありますか。

ア ある	9	30%
イ ない	21	70%

Q7 議会報告会に参加した感想をお聞かせください。

ア 良かった	25	93%
イ 良くなかった	1	4%
ウ わかからない	1	4%



Q8 その他、本日の感想や議会に対するご意見等をご記入ください。

※別紙

4 議会だよりについてのご意見をお聞かせください。

1	初参加でしたので、あまり建設的な意見ができませんでしたが、今後は意識を持ち参加させていただきたいと思います。
2	左綴じリニューアルおめでとうございます。
3	毎回拝読している。その中で質疑応答が分かりやす……大変歯切れの良いやり取りで好感をもって拝読しています。
4	解りやすく、身近に感じます。
5	関心のある話題については、内容をよく読みます。
6	これまでは、パラパラ興味のあるところだけよく読んでいたのですが、これからは、もっと全体的に目を通そうと思います。議会だよりの見開きが変わったのはどうしてでしょうか。
7	乗ってみた、見たデマンド、見聞録のシリーズ化を願いたい。

5 議会傍聴についてのご意見をお聞かせください。

1	入湯税の件は、勉強になりました。
2	静かな議会と思う。
3	2階の傍聴席が狭くて疲れる。
4	聞きに行く人がいつも少ない。関心がないと思うのでとても残念です。
5	住民の声を聞いて解決していく議員さんが必要と思われます。
6	元気がありよかったです。(モニターでの見学です)聞き取りにくい時もあり、もっと勉強したいと思いました。
7	最近傍聴にいけていないので、行こうと思います。会での参加も考えます。

8 その他、本日の感想や議会に対するご意見等をご記入ください。

1	テーマによっては、もう少し時間が必要かもしれません。町民と議員の先生が意見交換できるので良いと思う。
2	補聴器を付けての拝聴。周りの音が気になり各人のご意見が明確に聞くことができず的確な事が言えず、白けさせてしまったかもしれませんね。失礼致しました！
3	色々な意見が出ていてよかったと思います。
4	大変な仕事だと思いますが、那須町の未来のために頑張ってください。健康に留意して。
5	参加させていただきありがとうございました。
6	参加者が少ない。PRが不足と具体的に取組む為の考え方が未整理の為に、周知対策がない為参加者が少ない。基本的な考え方をもとに進めて欲しい。
7	実際にお話できて大変勉強になりました。ありがとうございました。
8	那須町を担う子供達の事をいろいろ聞いてよかったです。私も協力して行きたいと考えています。子育てには那須町はとても良い所だと感じています。世界にはばたく子供たちが育て欲しいと願っています。
9	有意義な時間をありがとうございました。次回開催を楽しみにしています。
10	活発な意見がでてとても有意義だったと思います。那須町も人口が減るばかりで老人が多くなり、なかなか思うようにならないとおもいますが、より良い町・住み良い町を目指して議員の人達にも頑張ってもらいたいと思います。
11	貴重な意見がたくさん出ました。これからの那須町に活かしてください。
12	活かしやすくとても良かったです。
13	高齢になっても住み続けられる那須町を望みます。農業を守る立場で意見を持って欲しい。環境問題もその一環だと思います。デマンド交通も住民が使い易い様にして欲しいです。
14	少し心のモヤモヤが話せて→聞いて頂けて良かったと思います。ざっくばらんに話が出来たし沢山方向性がうかがえて楽しかったです。このような機会に恵まれたことに感謝します。忙しい所参加して頂いた議員さん方々にお礼申し上げます。
15	お互いの意見や考えが理解でき有意義でした。視野が広がったような気がします。
16	1班の参加でした。いろいろな話を聞くことが出来勉強になりました。
17	議会報告会・意見交換会に参加させて頂きましてありがとうございました。私にとって議会が近くなったような気がします。まだ一部の人の話しか聞いていませんが、皆良かったとっていました。(詳しくは12月の定例会で聞く予定です。)今回一回だけでなく、また開催していただけたらと思っております。関係者の皆様、お疲れさまでした。またよろしく願い致します。

第8回 那須町議会報告会



開催日時	団体名
11月18日(木) 10:00~11:30	那須町女性団体連絡協議会 (さわやかネットワーク那須)
11月20日(土) ~ 11月22日(月) 18:00~19:30	那須町商工会青年部ほか

主催 那須町議会

議長あいさつ

本日は、那須町議会報告会（意見交換会）にご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

那須町議会では、開かれた議会を目指して毎年議会報告会を開催しています。議会は、言うまでもなく、条例の制定・改廃、予算・決算等に対する議決権の行使をはじめ、行政に対する監視や政策提言などを行っている機関です。また、町民の代表として、民意を広く行政に反映させる役割も担っており、町行政と町民をつなぐパイプ役でもあります。

町議会といたしましては、皆様の負託に応えるべく、今回お聞かせいただきましたご意見を基に、町政に反映するよう活動をしてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。



那須町議会議長 池澤 昇秋

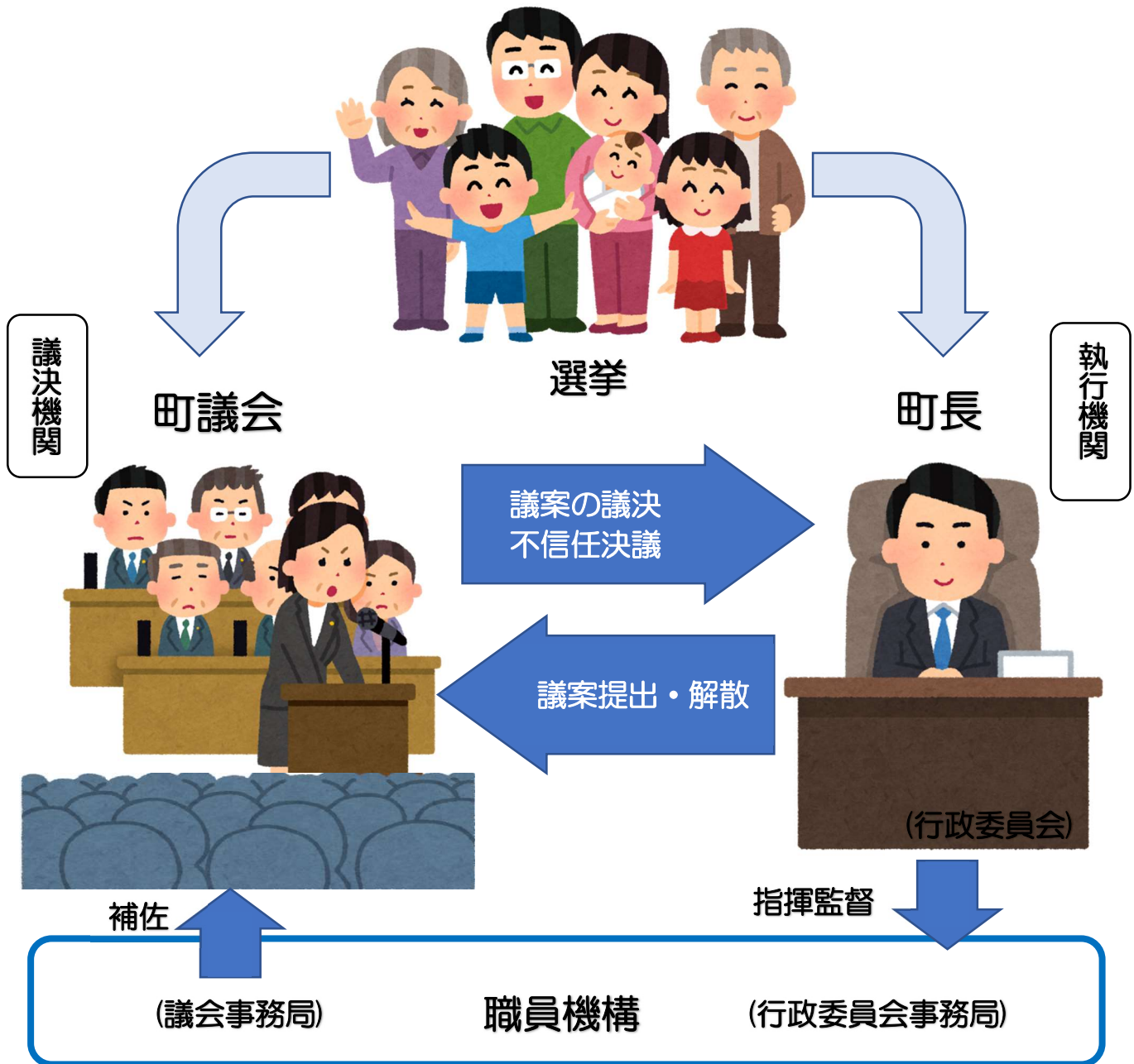
次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 日程説明及び活動報告
- 4 意見交換会
- 5 まとめ発表
- 6 謝 辞
- 7 閉 会

<ご来場の皆様へのごお願い>

- 広報用に会場の写真を撮影いたします。
- 町議会だよりやホームページ等に参加者の皆様の写真を掲載することがあります。
- 記録用に音声を録音いたします。ご了承ください。

議会の役割(二元代表制)



町長と議会の関係は、互いに対等・平等であり、相互に他を牽制しながら両者の調整が図られていることが、二元代表制の特徴です。ともに直接住民から選挙を通じて選任されることから、牽制と均衡が図られていることが期待されており、両者の意見が異なる場合には、最終的に選挙によって住民が決めることとなります。

【憲法が二元代表制を採用した理由】

- ① 直接住民の意志を反映することができ、より民主的になる。
- ② 長を議会から独立させることで、能率的・効率的な運営を期待できる。
- ③ 議会と長を対立させることで、相互の牽制と均衡を図ることができ、公正な行政が期待できる。
- ④ 長と議会が対立した場合、住民の監視により妥当な解決を期待できる。

令和3年度（上半期）議会運営委員会等の取組状況

委員会等名	取組状況
議会運営委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 議員研修会について 2 議会報告会（意見交換会）について 3 タブレット型パーソナルコンピュータ講習会について 4 那須町議会タブレット型パーソナルコンピュータ運用基準について 5 那須町議会会議規則の改正について（一部改正の追加） 6 那須町議会基本条例の見直しについて 7 議員間討議の制度化について 8 委員会代表質問の制度化について 9 議選監査委員の制度について 10 那須町議会 LINE 利用に関する規程について 11 町議会における新型コロナウイルス感染対策について 12 反問権の行使の際の発言方法について 13 制限時間を越えた討論に対する対応について 14 議会会議における不適切発言に対する対応について 15 議会 WEB アンケートの実施について
議会改革推進協議会理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1 議会基本条例の検証について 2 議員提案による条例について 3 「予算・決算審査」における議会改革について

常任委員会の重点活動

テーマと具体的な取り組み方法

■総務産業常任委員会

7月13日



太陽光発電と農業のシェアリング（真岡市）
所管事務調査

①人口減少対策について

現状把握と課題の抽出を行っているところです。子育て世代の定住が最重要課題と捉えていますが、具体的な取り組みは今後決定します。

②町有財産の有効活用について

伐期を迎えている町有林に関しては、森林組合からヒアリングを行い、伐採・植林計画を急いで策定する事を町に求めます。筒地園地、旧岡田牧場は貸付、売却を含めて提案します。

③農業と観光の振興について

農業に関しては、米価の低迷を念頭に、ソーラーシェアリング等水田や農地の新たな活用法を提案します。観光に関しては、道の駅那須高原友愛の森再整備への提言を中心に、誘客対策に取り組みます。

■民生文教常任委員会

7月20日



那須塩原市内にある NPO 法人 放課後児童クラブ運営団体ゆめがくどうを訪問

①高齢者福祉に関する課題について

介護する人たち（ケアラー）の現状把握を行い、必要となる支援についてケアラー条例制定の要否も含め検討を行います。

②公共交通利便性の向上について

民間バス、タクシー業者へのヒアリングや先進事例調査を行い、那須町に適した公共交通の在り方について、具体的な提案を行います。

③総合的な学校運営について

学校と地域をつなぐ小中学校運営協議会の可能性と課題について、継続的に参加するなどして問題を整理していきます。また、学童クラブ運営や不登校問題などについて調査とヒアリングを実施し、提言を行っていきます。

～総務産業常任委員会～

1 人口減少対策について

課題 近隣自治体への人口流出が多くみられる。住む場所や働く場所が少ないことが要因の一つであると考えられる。

対策 移住促進や企業誘致など、人口の社会増を目指す取り組みや子育て世代の定住促進について調査研究をする。

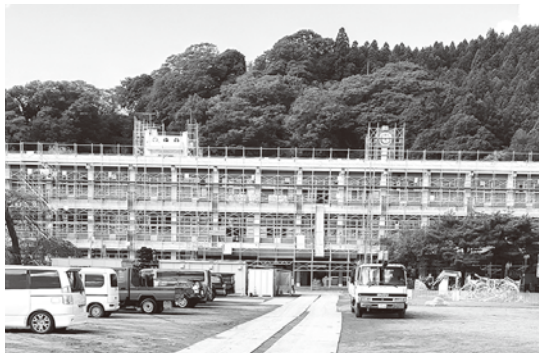


ウイングビナス[黒田原地区定住促進住宅]内覧会(9月29日)

2 町有財産の有効活用について

課題 伐期を迎えた町有林の面積が200haある。また小学校跡地や筒地園地、旧岡田牧場などの町有財産が有効活用されていない。

対策 町有林に関しては森林組合と意見交換会の実施し、伐採計画等の策定を提言する。町有地に関しては視察や関係機関等から意見聴取を行うなど調査研究をする。



解体される旧伊王野小学校

3 農業と観光の振興について

課題 農業に関しては米価の下落や農業従事者の高齢化、新たな担い手の創出が課題である。観光に関してはコロナ禍により観光客が減少している。

対策 農業に関しては、担い手の定着のために、収益の増加や作物の転換により新規に就農しやすい環境を整える必要があり、その手法の一つとしてソーラーシェアリングを検討する。

観光に関しては、道の駅那須高原友愛の森の機能強化や観光振興にどう活用するか検討する他、交通渋滞対策や誘客対策に取り組む。



完成した道の駅那須高原友愛の森管理事務所

1 高齢者福祉に関する課題について



社会福祉士
こだま ゆきひろ
児玉幸弘氏



「ケアラー支援条例について」こだま社会福祉士事務所 児玉幸弘氏を迎えて（9月3日）

課題 ヤングケアラーなど、介護する人の負担が大きく、またその現状は表面にあらわれにくい。

対策 ケアラーへ配慮する気持ちを町民みんなが共有する必要があり、ケアラー支援条例を検討する。



関東自動車(株)
東北営業推進室長
おおわ こういち
大輪洪一氏



公共交通の利便性についての意見交換(8月27日)

2 公共交通の利便性の向上について

課題 きゅーびー号の運行は現在終了しているが、観光への影響が懸念される。

対策 きゅーびー号の再運行や、町民バスの複合利用など 利便性の高い交通網と効率的な運営を模索する。



たんぼぼクラブ[黒田原小放課後児童クラブ]と意見交換(9月2日)

3 総合的な学校運営について

課題 学童クラブの運営は保護者会が行っているが、コロナ対策なども含め苦慮している。

対策 すぐに行える支援と数年かけて検討すべき運営の移行を協議する。



にこにこクラブ[高久小放課後児童クラブ]と意見交換(9月16日)

課題 不登校問題はさまざまな要素が絡み合い、顕在化されないケースも多い。

対策 総合的な支援が必要になることから、不登校に関する条例の先行事例を調査、制定を検討する。

令和2年度 政策課題・提言 (総務産業常任委員会)

令和3年8月27日回答

1 道の駅那須高原友愛の森について (観光商工課)	
課題	那須高原友愛の森は、施設ごとに運営主体が別で、道の駅として、全体を見据えた運営が出来ていない。また、直売所については未だに品切れの状態が解消されていない。更に、直売所は狭く常に密集している状況である。
提言	(1) 運営は管理能力、企画力など総合的に優れた会社の体制にすること。 (2) 再整備計画については、直売所は拡充し、他の施設は必要最小限にとどめると。
<p>【令和3年8月の状況】</p> <p>現状</p> <p>(1) 友愛の森運営の一元化を図るため、那須未来株式会社を中心に施設全体の管理・運営を行えるよう調整を進めており、令和3年4月に「なすとらん倶楽部運営組合」との一元化が終了しています。</p> <p>(2) 直売所は拡充、他の施設は必要最小限にとどめるとした再整備基本計画に基づき、次年度以降の直売所整備を進めていますが、今年度、直売所（物産部含む）及び農村レストランの設計業務委託を行っています。</p> <p>考え方・対応策</p> <p>(1) 令和3年4月に「なすとらん倶楽部運営組合」との一元化が終了し、今年度中に「工芸振興会」及び「直売所組合」との一元化を行い、令和4年度以降、施設全体の運営・管理を行っていきます。</p> <p>(2) 直売所（物産部含む）及び農村レストランの設計業務を進めるにあたっては、関係団体との調整を図りながら、途中経過を議会に説明し、情報共有と意見集約を行いながら設計に反映させていきます。</p>	

2 農業公社の運営について (農林振興課)	
課題	農業公社は、開設から3年が過ぎたが、周知度の低さから事業内容が町民に理解されていない。また、町から公社に多額の補助金が支出されているが、目玉になるべき事業など成果が得られていない。
提言	(1) 農業公社の果たすべき役割や事業内容を、広く町民に周知すること。 (2) 特に主要事業である町民農園事業、農地集積促進事業、新規就農受け入れ事業等の達成率を高めること。
<p>【令和3年8月の状況】</p> <p>現状</p> <p>(1) 広報及びホームページにて、農業分野における農業公社の事業運営や各種支援事業を紹介しています。</p> <p>(2) 町民農園事業については、公社理事会において候補地の選定や実施方法の検討を進めるとしており、近隣市町の状況や農園の開設方法を調査しています。農地集積促進事業は、従来通り希望する農業者への助言や支援を行っています。新規就農受入に関しては、令和元年に那須町酪農振興協議会を立ち上げ、酪農就農希望者に対する就農希望者へのサポート体制を整えてきています。また、酪農以外の就農希望者に対しても公社が窓口となり、助言やサポートを行い、必要に応じて県や関係団体と連携し支援事業などの情報を提供しています。</p> <p>考え方・対応策</p> <p>(1) インターネット環境がない町民への周知を図るため、引き続き、町広報紙等で周知を行ってまいります。</p> <p>(2) 町民農園事業の実施に関しては、担い手や新規就農者の確保などが喫緊の課題でもあるため、特に新規就農を希望する方に、町民農園を開放し就農に向けた体験的な場として利用することにより早期就農を図るなど事業内容について検討を進めてまいります。なお、現在は令和4年度の農園開設に向け、農地の選定や要項の整備等を進めております。</p> <p>農地集積事業については、各農業者の希望に添えるよう今後も適切な対応を行ってまいります。また、新規就農者の受入は、公社が総括窓口として相談を受け、就農者の希望に合わせた就農プログラムを提供し、補助支援や就農情報などを提供し早期就農を図ってまいります。</p>	

3 企業誘致の新たな取り組みについて (企画財政課・ふるさと定住課)	
課 題	那須町は、サテライトオフィスやワーケーション候補地として地理的条件、周辺環境状況から大きな潜在力を有している。そのため、都市機能分散の取り組みが注目されるこの時期を逃さず企業誘致活動及び、雇用の創出を図る政策をいち早く進める必要がある。
提 言	(1) サテライトオフィス、ワーケーションなど企業誘致に関し、戦略的に進める体制を整備すること。また、窓口を一本化すること。 (2) 積極的な情報発信、情報取得体制を構築すること。 (3) 誘致企業に対し、各種支援策、税等の優遇策を講じること。
<p>【令和3年8月の状況】</p> <p>現状</p> <p>(1) 令和2年度にお試しサテライトオフィス1か所を設置しました。今年度は黒田原まちづくりセンター内にサテライトオフィス及びコワーキングスペースの整備を進めており、都市部の企業の利用を促進しています。また、サテライトオフィス等に関する事業を積極的に実施するため、定期的に関係部署が集まり、協議をしているところです。なお、窓口はふるさと定住課となっています。(ふるさと定住課)</p> <p>※関係部署が集まった協議について</p> <p>リビングシフト推進会議(旧ニューライフスタイル推進会議)を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成課：企画財政課、観光商工課、ふるさと定住課(事務局) ・所掌事務：ワーケーション、サテライトオフィス等に関する施策立案 外部プランナー等の提言に関する分析及び具体化の検討 他 ・会議の開催状況：令和2年10月に設置 令和2年度7回開催、令和3年度3回開催 <p>(2) 情報発信については、現在総務省のホームページや町のホームページで発信しています。(ふるさと定住課)</p> <p>※情報発信については、基本的には令和3年1月時点と変更なし。</p> <p>お試しサテライトオフィスのPR動画を作成し、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ユーチューブCMに掲載 ② 町ホームページに掲載 ③ 渋谷駅前の大型ビジョンで放映 <p>(3) 企業誘致に係る支援については、那須町企業誘致及び立地促進条例に基づき奨励金を交付することとしております。(企画財政課)</p>	

考え方・対応策

- (1) 今後も関係部署等との連携を図り積極的に取り組んでまいります。(ふるさと定住課)
※関係部署等との連携については、本年度もリビングシフト推進会議を開催(令和3年度3回開催)するとともに、那須町長が全国二地域居住推進協議会副会長に就任したことにより、国土交通省との連絡も以前より多くなりました。今後は、庁内だけでなく外部の関係機関とも連携を図り、二地域居住も含めたテレワークを進めていきます。
- (2) 栃木県など関係機関等と連携を図りPRを強化するとともに、東京一極集中の低減化を図るため那須町にサテライトオフィスを設ける企業に対しては支援措置を検討してまいります。(ふるさと定住課)
※那須町にサテライトオフィスを設ける企業に対する支援措置
栃木県が実施するオフィス県内移転推進事業を利用した企業に対し、1年間のWi-Fi通信料、最大90,000円を助成する制度を新設し令和3年度から開始しました。
- (3) 町による産業団地の造成は難しいことから、企業誘致に係る対応方法は、ニーズに応じた事業用地の「仲介・紹介」としてまいります。(企画財政課)

令和2年度 政策課題・提言 (民生文教常任委員会)

令和3年8月27日回答

1 学校の新型コロナウイルス感染症対策について (学校教育課)	
課題	<p>学校の新型コロナウイルス感染症対策について、国が示す「学校の新しい生活様式」を取り入れた対策が必要である。</p> <p>人数が多いクラスは、特別教室を使って2クラスに分けることになるが、対象となる特別教室にはエアコンが設置されていない。</p>
提言	<p>(1) 普通教室としての使用が想定される特別教室については、エアコンを来年夏までに設置すること。</p>
<p>【令和3年8月の状況】</p> <p>現状</p> <p>(1) 那須町の小中学校の空調整備については、普通教室全室及び一部特別教室及び保健室等の管理諸室に設置されております。</p> <p>考え方・対応策</p> <p>(1) 町内の小中学校においては、施設の老朽化による改修についても課題であり、各学校の実情や改修等の優先度合い、財政状況を検討し対応しております。空調整備につきましても、基本的には国の財政支援が受けられる大規模改修等とあわせて整備してまいります。</p> <p>※小中学校の特別教室の空調設備については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、令和2年度において3校3教室に新たに設置いたしました。また、令和3年度においても同交付金等を活用し、7校9教室に設置を予定しております。</p>	
2 不登校対応について (学校教育課)	
課題	<p>不登校児童生徒数が全国的に増加している。当町においても不登校児童生徒が増えており、その予防及び支援が急務となっている。</p> <p>不登校児童生徒のため、学校を安心できる場所にすることや、教育相談室の教育環境を整える必要がある。</p>
提言	<p>(1) 不登校児童生徒が増える傾向にある学年には、優先的に学習生活支援員を配置すること。</p> <p>(2) スクールソーシャルワーカー等の拡充を行い、更なる有効活用を図ること。</p> <p>(3) 不登校児童生徒の通室の利便性を高めるため、教育相談室を新たに那須中学校区内にも設置すること。また、現在の老朽化した教育相談室の環境改善を図ること。</p>

<p>(4)不登校児童生徒の学習支援のため、オンラインでの授業参加が出来る環境を整えること。</p>
<p>【令和3年8月の状況】</p> <p>現状</p> <p>(1) 近隣自治体が教育活動指導助手を大幅に削減するなか、那須町では現状を維持し、小学校に18人、中学校に7人、計25人の教育活動指導助手を配置しており、その学校の実情にあわせ、配慮を要する児童生徒等の学習生活支援を行っております。また今年度、中学校に1人ずつ心の教室相談員を配置して、試験的に校内フリースクールを開設したところ、教室に入ることが難しい生徒の学習の場として定着しつつあります。</p> <p>(2) スクールソーシャルワーカーについては、地域自殺対策強化交付金を活用して1人を任用し、保護者と学校、関係機関との調整役として活動しております。令和元年度は、年間約1,100件(延べ数)の相談や対応に従事しました。また、スクールソーシャルワーカーの他に教育相談員2名と作業療法士1名が教育相談室に常駐しており、それぞれの役割の中で、個人の特性や家庭状況等に応じた支援を行っております。</p> <p>(3) 今年度は、トイレ洋式化工事、不要備品の廃棄や移転を行って学習室を確保する等の環境改善に取り組みました。専用公用車2台を配備し、相談員による家庭訪問や通室児童生徒の活動時の移動等に活用しております。</p> <p>(4) インターネット光回線とLTE通信可能なタブレット端末を教育相談室に整備しており、町内小中学校と遜色ない環境を整えております。</p> <p>考え方・対応策</p> <p>(1) 不登校傾向には教職員や児童生徒間における人間関係だけではなく、学業不振、経済困窮、疾病、保護者の育児の不得意さなど様々な理由が考えられます。また、各学校には登校ができていても、配慮や支援を必要とする児童生徒も多数在籍しております。今後も各学校の状況を適切に把握し、限られた予算の中で必要な支援をきめ細やかにを行うことを最優先としながら、教育活動指導助手を配置してまいります。</p> <p>(2) 文部科学省による不登校の原因・理由についての調査では、学校に係る状況よりも家庭に係る状況の割合が高いという結果が出ています。不登校の要因は複雑化しており、こうした悩みを抱える児童生徒、そして家庭に対し適切な支援をしていくには外部機関との連携が必須となります。スクールソーシャルワーカーはその調整を行う重要な役割を担っております。また、その他の職種についても、専門的知識と豊かな経験が必要であり、適切な人材の育成や確保を行った上で、財源の確保と拡充等について検討する必要があると考えております。</p>

※町が配置するスクールソーシャルワーカーのほか、令和3年度から県が実施するスクールソーシャルワーカー活用事業〔文部科学省補助事業〕により、県のスクールソーシャルワーカーが中学校区ごとに週1日3時間（那須町は2校区で週6時間）派遣されております。

(3) 現在の教育相談室の施設は、老朽化による不具合等はあるものの、適度な立地条件と環境が整っており、通室児童生徒と保護者にとって慣れ親しんだ施設となっております。移転等については、立地条件等が整う場所を検討しながら進めるものとし、現施設の維持管理を今後も適切に行いながら、増設ではなく各中学校の校内フリースクールを更に定着させることで、不登校傾向にある児童生徒の学習の場を確保してまいります。

※現在、教育相談室の環境改善を目的に、老朽化した倉庫や駐輪場の撤去を検討しております。

(4) オンライン学習については、児童生徒が利用できるソフトウェアの導入を進めており、学校だけではなく、インターネット環境があれば家庭や教育相談室でも活用することができます。通室児童生徒が学校と同様に学習を進めることができるよう、環境を整備してまいります。

※オンラインでの授業参加につきましては、課題はありますが、既に環境は整っておりますので、希望する生徒がいれば対応することは可能と考えます。

3 子供の安全対策について（学校教育課・こども未来課）

課 題	子供の安全を守るため、保育園、小中学校の周辺や通学路（交差点など）の防犯体制を強化する必要がある。 また、地域ぐるみで登下校時の子供の安全を守る意識を高める必要がある。
--------	---

提 言	(1) 小中学校には防犯カメラが一部設置されているが、保育園、小中学校の周辺や通学路（交差点など）にも設置すること。 (2) 登下校時の「ながら見守り」活動の啓発を図り、地域による見守り意識を高めていくこと。
--------	---

【令和3年8月の状況】

現状

(1) 令和3年7月までに、令和3年度末閉園になる予定の大同及び高久保育園を除く4保育園において防犯カメラを設置いたしました。

また、キッズゾーンの設定につきましては、道路管理者等関係機関と協議を設けキッズゾーンの設定を進めてまいります。

(2) 登下校時の見守りについては、交通指導員や各学校において交通安全ボランティア等のご協力をいただき、登下校時の安全対策、見守り活動を行っております

<p>考え方・対応策</p> <p>(1) 防犯カメラは犯罪を行おうとする者に対する抑止効果は期待できませんが、設置したからといって安全ということではありません。また、防犯対策への活用が期待できる一方で不特定多数の住民を撮影することにもなるため、学校敷地外での使用にはプライバシーへの配慮など慎重な運用が必要とされます。防犯カメラはあくまで見守りを補完するものであり、地域での見守り活動が何より重要であると考えます。</p> <p>また、保育園は保護者送迎のため、敷地内における不審者対策の強化が必要と考えております。なお、令和3年7月までに、令和3年度末閉園になる予定の大同及び高久保育園を除く4保育園において防犯カメラを設置いたしました。</p> <p>キッズゾーンの設定については、区域の確定をして看板等の設置や道路上へのマーキングなどを検討しております。</p> <p>(2) 登下校時の見守り活動については、地域と学校が連携し見守り体制の強化や活動協力の啓発に努めてまいります。</p> <p>また、保育園については令和2年3月に策定しました第2期「那須町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育園の周囲で園児等に注意をすべきという意識の啓発等を目的として、保育園付近での散歩等の園外活動等の安全を確保するためキッズゾーンの設定を推進してまいります。</p>	
<p>4 ICT教育の推進について (学校教育課・生涯学習課)</p>	
<p>課題</p>	<p>今年度、タブレット一人1台体制が整うが、更に効果的なICT教育を推進するため、教育環境を整備する必要がある。</p>
<p>提言</p>	<p>(1) ICTや電子教科書を活用した授業への転換を図ること。</p> <p>(2) タブレットの有効活用を図るため、電子黒板を各クラスに配備すること。</p> <p>(3) 児童生徒や教員がICTを活用出来るようにサポート体制を整備すること。</p> <p>(4) タブレットのブルーライトから目を守る対策を行うこと。</p> <p>(5) 児童生徒や保護者と教員とのコミュニケーションツールとしてタブレットの活用も図ること。</p> <p>(6) 町立図書館に電子書籍を整備し、利用できる体制を作ること。</p>
<p>【令和3年8月の状況】</p> <p>現状</p> <p>(1) 学習指導要領の改訂によりプログラミングを取り入れた授業が必須となり、ICTへの転換は既に国内全体で進んでおります。本町では更に、独自の教育課程「NAiSUタイム」を編成し、小中学校9年間を通して体系的にプログラミング教育を実践する取組み等を進めております。また、令和2年度は小学校の教科書改訂があり、これに合わせて、全小学校に国語と算数の指導者用デジタル教科書を導入いたしました。</p>	

※令和3年度は中学校の教科書改訂があり、各学校がそれぞれの配当予算により指導者用デジタル教科書を導入しています。

- (2) 小中学校には、32 台の電子黒板と 64 台の大型モニター、計 96 台の大型提示装置が導入されております。主に小学校から追加導入の要望が出ており、令和3年度には大型モニター35 台を追加し、総数が 131 台となるよう進めております。
- (3) 現在、町指導主事とプログラミング教育推進スーパーバイザーが中心となって教員に向けた ICT 活用事例の情報提供等を定期的に行っています。また、業務委託による ICT 支援員の派遣と GIGA スクールサポーターの任用により、児童生徒や教職員の ICT 活用をサポートしているほか、地域おこし協力隊が中学校を活動拠点としながら、プログラミング教育の普及啓発を行っております。
- (4) 現在は全ての児童生徒にタブレット端末が整備されましたが、ブルーライトへの対策は行っておりません。
- (5) 令和2年度に導入したタブレット端末 951 台につきましては、文部科学省の公立学校情報機器整備費補助金を活用し、学習者用コンピューターとして導入するものです。児童生徒（学習者）が学級活動、学習活動におけるコミュニケーションツールとして活用する場合についても、本補助金の趣旨に添うものであると考えます。
- (6) 電子書籍の導入につきましては、導入費・維持管理費等の費用面から現在のところ見送っている状況であります。なお、公共図書館の電子書籍の導入割合は、全国で 7.2%（令和2年7月1日現在）、県内では7市町（令和3年2月1日現在）29.1%となっております。

考え方・対応策

- (1) ICT の活用については、プログラミング教育に限らず教科や単元によって多種多様な方法が考えられます。町では、タブレット端末の特性を生かした授業への転換のため、既に研修会の開催や教員間の情報共有の場を設定しており、引き続き ICT 活用に積極的に取り組む学校の後押しができるよう対応してまいります。また、学習者用デジタル教科書については、学校教育法において授業時間数の 2 分の 1 未満しか使用できないという制約があります。文部科学省は学習者用デジタル教科書を 2024 年度に、まずは小学校の改定教科書の仕様に合わせて本格導入する方針を定めましたので、今後も国の動向を注視しながら、効果的な導入について検討していきたいと考えております。※文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加希望をしたところ、希望した町内 4 校すべての参加が決定し、1 教科ではありますが無償で使用するすることができますので、効果・影響等について検証したいと考えています。なお、学習者用デジタル教科書については、学校教育法が改正され、令和3年度より授業時間数の 2 分の 1 以上使用できるようになっております。

- (2) 1人1台タブレット端末が整備されたことにより、大型モニターとタブレット端末を接続することで電子黒板同等の活用ができることも考えられます。今後のタブレット端末の活用状況をみながら、こうした活用方法を学校へ周知するとともに、既存機器を効果的に利用することで、各クラスへ必要な ICT 機器を配備できるものと考えております。
- (3) タブレット端末が1人1台導入されましたので、各学校への ICT 支援員の派遣時数の拡大等により対応し、児童生徒の操作支援やモラル教育等を行ってまいります。また、機器増加に伴って維持管理が煩雑化しないよう、端末管理ツール (MDM) ですべての端末を一括管理できるよう設定し、教員の負担軽減を図ってまいります。
- (4) 本町で導入している Apple 社製の iPad には「Night Shift(ナイトシフト)」機能があり、設定により画面の色を暖色系に自動的に切り替えことでブルーライトを軽減することが可能です。今後タブレット端末が1人1台導入されましたので、ICT 機器の安心安全な取扱いについて、こうした既存の機能も活用しながら対策を講じてまいります。
- (5) タブレット端末のコミュニケーションツールとしての活用については、利用するソフトウェアの選択も重要であります。本町において既に活用している Google 社の「Google for Education」を、今後は児童生徒・教員用のコミュニケーションツールとして運用を進めていくことを考えております。情報はすべてクラウドで一括管理されるため、端末を限定せずに活用することが可能です。保護者と教員の間でも有効であり、保護者は手持ちのスマートフォン等でも利用することができることから、一部の学校において既に運用が始まっております。今後も有効的なソフトウェアの活用方法等について情報提供と運用支援を行ってまいります。
- (6) 令和2年度のアンケート結果では、約10%の方から電子書籍導入の意向がありました。今後とも、導入意向の動向等を見つつ、電子書籍サービスを導入した自治体の有効面等を把握し、これからの図書館サービスの在り方を検討してまいります。

意見交換会テーマ

テーマ①「議会各常任委員会のテーマ」

テーマ	備考
○人口減少対策について	総務産業常任委員会
○町有財産の有効活用について	
○農業と観光の振興について	
○公共交通の利便性の向上について	民生文教常任委員会
○高齢者対策について	
○総合的な学校運営対策について	
○議会運営について	議会運営委員会
○議会改革について	議会改革推進協議会

テーマ②「第7次那須町振興計画基本方針に関するテーマ」

テーマ
<p>「自然・環境・共生」のまち 比類のない豊かな自然環境を町民の財産として後世に継承していくとともに、環境保全に対する意識の高まりを踏まえ、循環型社会の構築や適正な再生可能エネルギーの導入に努めるなど、環境との共生に配慮したまちづくりを進めます。</p>
<p>「住まい・暮らし・定住」のまち ふるさどに対する愛着の高さや、首都圏からゆとりを求めて移住する高齢者が多い状況を踏まえながら、さらに若い世代が快適に暮らし続けることのできる環境づくりに向け、生活の舞台となる住空間や身近な商業空間の充実、道路・公園などの生活基盤の整備を進めることで住んでみたい、暮らし続けたいと感じるまちづくりを進めます。</p>
<p>「子育て・健康・福祉」のまち 地方都市の共通課題である少子高齢社会の進展や若者層の流出に歯止めをかけるため、定住施策の展開と合わせた子育て支援の充実に努めるとともに、地域の福祉力の向上や健康づくり、福祉サービスの充実に図り、誰もが生きがいを持ち、共に支え合いながら、自分らしく活躍できるまちづくりを進めます。</p>
<p>「観光・交流・連携」のまち 本町を代表する自然、観光・レクリエーション、産業、さらにはスポーツなど、地域の魅力や知名度を際立たせる資源の活用にも努めるとともに、新たにSociety5.0の考え方を取り入れるなど、町内外あるいは国内外の様々な交流・連携を高める基盤の充実に図り、本町の活力あるまちづくりにつなげていきます。</p>
<p>「しごと・活力」のまち 町の特色ある産業を牽引する農林業や鉱工業の活性化に向け、新鮮で安全な食材の地産地消の仕組みづくりや、八溝材・芦野石などの活用促進にも努めるとともに、積極的な企業誘致の推進や日々の暮らしを支える地元商業空間の再生を図るなど、本町の活力を創出する雇用の場の確保につなげていきます。</p>
<p>「安全・安心」のまち 近年の異常気象による集中豪雨や、火山噴火などの災害発生に備えた防災施設や災害発生時における情報の伝達・避難誘導等の防災体制の強化を図るとともに、消防、警察等関係機関と連携し、防犯体制の強化や交通安全対策を推進することにより、安全で安心した生活を送ることができるまちづくりを進めます。</p>
<p>「教育・文化・スポーツ」のまち まちづくりにおける人づくりの重要性を踏まえつつ、心身ともに健やかな子どもを育む特色ある学校教育の充実やコミュニティ・スクールの活性化を図るとともに、町民の生活の質を高める、文化やスポーツなどに日々親しみ、活躍することのできる環境を整えるなど、人材育成のまちづくりを進めます。</p>
<p>「協働・行財政」のまち 町民と行政の連携による協働によるまちづくりや、効率的な行政運営、財政の健全化を図り、本町の特성에応じた持続可能なまちづくりを進めるとともに、広域的に取り組むことが効果的な課題については、定住自立圏等を活用し、他自治体との連携による対応を検討していきます。</p>

テーマ③「自由意見交換」

那須町議会議員名簿

令和3年2月24日現在

任期：平成31年2月26日～令和5年2月25日

議席	氏名 (年齢)	写真	当選 回数	政 党	所属委員会
1	タカハシ アキラ 高橋 輝		1	無所属	総務産業 広報
2	ヒロヤマ テルタカ 平山 輝貴		1	無所属	民生文教 ◎広報
3	サイトウ ノリヒト 齋藤 則人		1	無所属	○民生文教 ○議会運営
副議長 4	タムラ ナミュキ 田村 浪行		1	公明	民生文教 広報
5	サキ ユキオ 関 幸夫		1	無所属	総務産業 ○広報
6	キムラ シュウイチ 木村 秀一		1	無所属	○総務産業 広報
7	イウエ ユタカ 井上 豊		2	無所属	総務産業

議席	氏名 (年齢)	写真	当選 回数	政 党	所属委員会
8	ウスイ ヒロミツ 薄井 博光		2	無所属	◎総務産業 議会運営
9	ムロイ タカオ 室井 高男		2	無所属	◎民生文教 議会運営
10	タカク カズブ 高久 一伸		2	無所属	総務産業 ◎議会運営
11	タケハラ ツグオ 竹原 亞生		2	希望の 風那須	民生文教 議会運営
12	オノ ヨウコ 小野 曜子		2	共産	民生文教
議長 13	イケザワ ノブアキ 池澤 昇秋		2	無所属	議長は委員 会に所属し ません

◎委員長 ○副委員長

